

陳情第 2 号

米空軍横田基地へのC V 2 2 オスプレイ配備を中止するよう求める意見
書の提出に関する陳情

1 受理年月日 平成 2 7 年 6 月 2 日

2 陳 情 者 あきる野市二宮東 2 - 3 - 3 6 - 1 0 1

立川平和委員会

代表者 小玉 博美

3 陳情の要旨

関係各省庁に対して、米空軍横田基地への特殊作戦用の垂直離着陸機C V 2 2 オスプレイ配備を中止するよう意見書を提出することを求めます。

4 陳情の理由

日米両政府は5月12日、米空軍横田基地（東京都）に特殊作戦用の垂直離着陸機C V 2 2 オスプレイ10機を配備すると発表しました。

私たちは、国民の命と平和を脅かすこの計画に抗議し、撤回を求めます。

既に立川市を初めとした横田基地周辺市町基地対策連絡会は、「・・・再三にわたる要請を行ってきたにもかかわらず・・・誠に遺憾」とのコメントを発表しているところであり、貴議会として住民の不安に応え、関係省庁に対して、配備撤回の意見書を提出することを求めます。

5月17日には、米海兵隊のMV 2 2 オスプレイが、米ハワイ州の米軍基地で着陸失敗・炎上事故を起こし、乗員1人が死亡するという痛ましい事故が起きましたが、横田基地に配備されようとしているC V 2 2 オスプレイはMV 2 2 オスプレイよりも、重大事故の発生率が米軍・防衛省の統計によっても少なくとも3倍以上高いものです。それはこのC V 2 2 オスプレイが、敵地に侵入して米兵を救出するなど、危険な戦闘に投入される特殊作戦用の軍用機であり、そのための過酷な低空飛行訓練や夜間飛行訓練を必要としているからに他なりません。横田基地に配備されようとしているオスプレイも同様の訓練を行うことを、中谷防衛大臣が認めています。このような危険な軍用機を、人口密集地の真ん中に位置する首都・東京の横田基地に配備することの異常さは明白です。しかもいま横田基地では、米海兵隊や特殊作戦部隊によるパラシュート訓練や、C 1 3 0 特殊作戦機による首都圏全域での低空飛行訓練等、危険な実戦的訓練が強化されてきています。もしC V 2 2 オスプレイが配備されれば、横田基地とその周辺で、いっそう激しい低空飛行訓練等、危険な特殊作戦訓練がくりひろげられ、深刻な被害がまきちらされることになるのは必至です。

住民の命と安全、平和を守るため、貴議会として関係各省庁に対して、米空軍横田基地への特殊作戦用の垂直離着陸機C V 2 2 オスプレイ配備を中止するよう意見

書を提出することを求めます。